

子ども手当を考える  
- 子どもの役に立つことに用いよう -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1) おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2) 民主党のマニフェストの一つである子ども手当が6月1日から支給されることになり、テレビ等で話題になっています。
- (3) 皆さんもご存知のように、子ども手当は中学校卒業まで一人当たり月13,000円が全国の自治体で支給されます。
- (4) 学習塾としてこのことにどのように対処するのかという取材が何件か、新聞社などから私あてにありました。日本経済新聞、下野新聞、読売新聞、NHKからの取材の申し込みに、開倫塾としてどのようなことをやるのかについていろいろとお話をさせていただきましたので、今日はそのお話をいたします。

2. 子ども手当を考える - 子どもの役に立つことに用いよう -

- (1) 開倫塾は学習塾ですので、たくさんのお子さんに来ていただいております。昨年のピーク時には6500名から6600名ぐらいの生徒さんがいらっしゃいましたので、今年は7000名ぐらいの小学生・中学生・高校生の生徒さんが勉強にいらっしゃるかもしれません。ですから、子ども手当が支給された場合には、開倫塾で勉強していただければありがたいということをお話させていただきました。
- (2) 小学生は1科目しか習わない方もたくさんいらっしゃいますが、子ども手当が支給されると、1科目だけではなく2科目、3科目勉強できるチャンスが広がるということもあります。例えば、算数しか習っていなかったお子さんが、子ども手当で英語を勉強したり、国語を勉強したりすることもできます。
- (3) また、私立中学校入試に関してですが、私立中学校は公立中学校よりも授業料が多くかかりますので、その分を子ども手当で補えば私立中学校へ行く可能性が広がります。ですから、今までは私立中学校を受験する方を対象にした授業は十数カ所で行っていませんでしたが、今年の4月からは開倫塾の50カ所すべての校舎で私立中学校のコースをスタートしました。

(4)一方で、月謝を払うことが大変な中学生のお子さんを持つご家庭もたくさんあります。しかし、子ども手当が支給されると学習塾に来ることのできる中学生が増えると思われまので、せっかくであれば開倫塾を選んでいただきたいということ、また、そうなればこちら一懸命教えなければならぬというお話をさせていただきました。

(5)このようなことは、開倫塾だけではなく、全国の学習塾、栃木県・群馬県・茨城県の学習塾、スイミング・習字・ピアノ・バレエなどのいろいろな習い事の教室、スポーツ教室、そろばん教室、バイオリン教室などいろいろな教室の方々もお考えかと思ひます。ですから、せっかく子ども手当が支給されるのであれば、有用に使っていただきたいというお話もさせていただきました。

(6)ところで、一人月額 13,000 円の子ども手当を支給するためには、年間 2 兆円以上のお金が必要になります。もし、この倍額の 26,000 円の支給になると、5 兆 5000 億円のお金が必要になるとお聞きしています。今、税収が 30 兆円しかない中で、5 兆円以上のお金を子ども手当のためだけに使ってよいのかという議論があります。子ども手当を支給するために国や地方自治体の借金が増えるようであれば、そのツケはすべて子供たちに回ります。例え話で言ひますと、おいしいものを食べなさい食べなさいと言って食べさせておいて、後からそのお金を子供たちに請求するのと同じです。

(7)さらに、中学校卒業まで支払うお金があるかという無いわけです。ですから、果たしてこのようなお金の使い方をしてよいのかどうかという議論が生じるのです。基本的にはこのようなことはやってはいいけないことだと私は考えておりますので、そのことも含めて記者の皆さんにお話をさせていただきました。

(8)子どもにかかるお金は大変だと思ひますので、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど近親の方には一懸命働いていただき、それでも大変な場合は行政のほうでお手伝いすることももちろん大事だと思ひます。それだからといって、一律に支給することがよいかといひますと、どちらかといへば私はそうでないほうがよいという考えを持っています。このことについては、ぜひ皆さんにもお考えいただきたいと思ひます。特に、政権与党である民主党の方々には真剣に考えてもらいたいと思ひます。

(9)子ども手当が支給されることは、子ども関係の仕事をしている方やお父さん、お母さんにとってはありがたいことだと思ひます。しかし、そのツケがどのようになるのかということ、つまり国全体のことや子どもたちの将来のこと、特に子どもたちが将来背負う重しというものについて考えることがとても大事だと思ひます。ですから、子ども手当をどのようにとらえるかについて、皆様も一緒に考えていただければと思ひます。

### 3. おわりに

このことはとても大事なテーマですので、これからも時々お話をさせていただければと思ひます。

\*東日本大震災が発生している中、復興の原資が見当たらないのであれば、子ども手当は止めにして復興に充当した方がよいと私は考える。

